

一関市のまち・ひと・しごとを考える高校生によるワークショップ結果報告書

1 目的

次期一関市総合計画基本計画及び一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、まち、ひと、しごとのテーマにより、高校生の視点で、一関市の将来のまちづくりについて話し合い、将来の一関市を描いてもらうため。

2 テーマ

【中東北の拠点都市の形成】しごと

- ① 若者や女性が集うまち
- ② 求めるしごと

【人材の育成】ひと

- ③ 子育てしやすいまち

【時代にあった地域づくり】まち

- ④ 住みたい、住んで良かったまち

4つのテーマ×2島とし、8島でワールドカフェを実施。最後に発表用模造紙を高校生が作成、発表する。

3 日時・場所

平成27年6月20日（土）13：30～17：00・一関図書館1階学習室

4 参加者 43人

（一関二24人、一関工業4人、修紅2人、千厩9人、花泉4人）

5 結果

(1) 若者や女性が集うまち

【1グループ】

- ◆ イベントが沢山あるまちにしたい
 - ・ワッショイ！ 芸能人がくるようなイベントをする。
 - ・室根でムロリンピックを開催（オリンピック室根バージョン）
 - ・お見合い大作戦を開催する。
 - ・野外フェス（アーティスト、一般どちらも）を開催する。
- ◆ 充実した公共施設
 - ・スポーツ施設、音楽施設をつくる。
 - ・遊園地があったらいい。
- ◆ 商業施設の充実
 - ・都市化する地域と自然を残す地域とエリア分けする。
 - ・都市化する地域では、若者向けの店（スイートパラダイス、スタバ、アニメイト）があること。
- ◆ 自分の思い通りにできるまち

- ・セグウェイが走るまちにする。話題性！近未来！
- ・スマホの充電がどこでもできる、どこでもWi-Fiの環境。
- ・バス、電車の本数を増やす。

【2グループ】

目標：スタバがあるまち（人口30万人を目指す）

目標を達成するために

- ① 雇用を増やす
子育て支援を充実させる→子どもが増える→保育士、先生が必要→雇用が増える
- ② 平泉と連携する
世界遺産の共有→交通手段の整理（平泉と一関を循環させる）→世界遺産をもっと有名にする→観光客を増やす→地域活性化につながる

(2) 子育てしやすいまち

【3グループ】

- ① 子育て世代同士のお悩み共有、相談
 - ・読み聞かせをする。
 - ・保健センターの子育てイベントを充実させる。
- ② 公園を増やす
 - ・空き地や使っていない公園を整備する。自由に遊べる公園にする。
- ③ 自然を生かす
 - ・動物とふれあえる施設（犬、ネコ、ウサギなど）があつたらいい。
 - ・自然とふれあうことで教育の場を広める。

→自然のある公園が良い
- ④ 複合施設をつくる
 - ・老人ホームと保育園をつなげる。
 - ・両親が働いていても安心して預けられる施設にする。
- ⑤ 子育てしているママ限定で入居できる市営アパートをつくる
 - ・シングルマザー（ファザー）限定にして、一人で育てているなど、収入が少なくても市営で安い価格で入居できるようにする。
 - ・高齢者が育児をお手伝いする。
- ⑥ 安心なまち まちづくりの大前提
 - ・道路が安全で整備がしっかりしている。
 - ・自転車専用道路をつくる。

経済面と人的な面で子育ての負担を減らす。

さいごに 明日は父の日！親に感謝！

【4グループ】

親子と保育施設と地域社会が連携して子育てをするまち
(親子)

- ・親子のふれあいが大切である。
- 休みを多くしてふれあいの時間をつくる。(一関限定毎月GW)
- 地域の親子イベントへの参加
- ・子どもを預けることができる施設がほしい。
- (保育)
- ・夜間、休日、延長保育を実施。
- ・学童保育を実施する。
- 地域のお年寄りが子どもの面倒を見る。安心させるために保険を用意する。
- (地域社会)
- ・介護と保育の合体した施設をつくる。
- ・親子向けイベントを開催する。
- ・地域のお年寄りが子どもの面倒を見る。

(3) 住みたいまち

【5グループ】

◆ 交通機関を充実させる

- ・電車、バスの本数を増やす(車利用者が減る。エコにつながる)
- ・歩道、街灯の整備をして交通事故を減らす。
- ・交通ルールを徹底させる。
- ・乗合バスの無料化(〇歳以上、高齢者にやさしいまち)
- ・地域の巡回バスの無料化(イベント時のみ)

◆ 楽しいまち

- ・お祭り、イベントの充実
- 多くの人が集まるようなイベント開催。(地元の人でも市外の人でも楽しめる)
- お笑い芸人、有名人をよぶ。昔遊び、スポーツイベント

◆ 高齢者と子どもにやさしいまち

- ・医療機関の充実(専門の治療ができる病院など)
- ・幅広い年代が集まれる憩いの場。
- ・バリアフリーのまち

◆ その他

- ・お店の充実
- 近場で用が済ませられるまち。移動スーパー、専門店

【6グループ】

◆ 現状

- ・まちに活気がない。
- ・行事の知名度が低い、行事が少ない。

- ・意見が通らない→まちが変わらない。
- ・まちに特色がない

◆ 解決策

- ・毎月ギネスに挑戦する。
- ・きれいな道路をつくる（花を植えるなど）
- ・全国から人が集まるような大きな行事を企画する。
- ・目安箱を設置する。
- ・歩くと音になる道路をつくる。

◆ まとめ

みんなが住みたくなるまちにするには、他のまちとは違う特色があって楽しいまち
と思われるような行事を企画すればいい

(4) 求めるしごと

【7グループ】

観光を充実させて、雇用を増やす

- ・一関、平泉を中心にツアーを組む。
→バスが必要（運転手、バスガイド）
→宿泊施設が必要（従業員）
- ・宣伝
→テレビの力を借りる。（番組で紹介してもらう）
→サイト、ブログで情報発信する。（インパクトがある記事にする）
→芸能人に紹介してもらう。（番組、ツイッターなどでピーアールをしてもらう。）

【8グループ】

◆ こんな仕事につきたい

- ・高収入、安定した休み、続けられる仕事、夢を実現できる仕事（好きなことを仕事にしたい）、家庭と両立させられる仕事

◆ 職種

- ・公務員、IT系、医療系、介護系、保育士、調理師、教師、OL、サラリーマン、専門職、国際系

◆ 実現するためには

- ・教育機関の充実（大学、専門学校、資格をとれるところ）
- ・保育、介護施設の充実（子どもを預けられる）
- ・多種類の職種の確保（偏らない）
- ・交通機関の整備

地元で学べて地元で職につける市をめざす

○ 発表以外の意見

◆ハード

- ・設備の充実として、女性目線としては、日蔭がほしい、きれいなトイレがあればよい。
- ・空き家を利用して安く住めるシェアハウスにしてはどうか。
- ・特徴があるまちにするために、歩くと音が出る歩道、しゃべるトイレを設置してはどうか。
- ・まちの中をバリアフリーにし、商店街の中に休憩場所、トイレを設置する。
- ・アートであふれている街になればよい。

◆ソフト

- ・一関にプロ野球チームをつくる。
- ・野球場、テニスコートなど一関にある施設をもっとピーアールする。
- ・フリーマーケットを開催するなど、イベントを含めてまち中で賑わいがあったらよい。
- ・若者に福祉について興味をもってもらうために地域ごとに福祉を題材に話し合う場をつくってほしい。
- ・父親の集まる場を設定してはどうか。パパ会、男子会、イクメン系男子会など。
- ・若者と高齢者など年齢に関係なく参加できるイベントを開催してはどうか。昔遊び競争（コマ、ベーゴマ、竹馬、けん玉など）
- ・商店街全体でスタンプラリーを開催する。

◆その他

- ・中学生の頃、つくばの視察研修に参加したが、難しい内容でわからなかった。予備知識を持って行った方がよいと思うので、高校生を対象にするなど、行く時期を検討した方がよい。